

環状道路の形成が更なる地域の発展へ

国道42号
松阪多気バイパス

**Matsusaka
Taki
Bypass**

国土交通省 中部地方整備局
紀勢国道事務所

Matsusaka Taki Bypass

国道42号 松阪多気バイパス

国道42号松阪多気バイパスは、松阪市街地の環状機能を併せ持ち、市街地の慢性的な交通渋滞の緩和を目的に計画された、三重県松阪市古井町から多気郡多気町仁田に至る延長11.9kmの幹線道路です。

平成29年度に松阪市下蛸路町から八太町間(延長1.1km)が開通し、全線が暫定2車線で繋がりました。

松阪多気バイパスが繋がることによりネットワークが形成され、渋滞・交通事故の減少はもとより、企業活動の生産性向上・沿道開発の促進など様々な整備効果が期待されます。

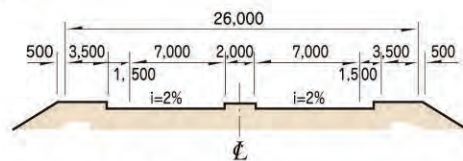
計画の概要

■ 事業名	国道42号 松阪多気バイパス
■ 事業区間	三重県松阪市古井町～三重県多気郡多気町仁田
■ 全体延長	11.9km
■ 規格	3種1級
■ 設計速度	80km/h
■ 車線数	完成4車線(暫定2車線)

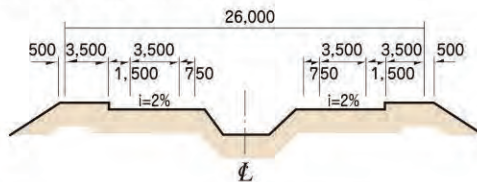
標準断面図

(単位:mm)

■ 完成断面図



■ 計画断面図(暫定2車線)



事業の経緯

■ 昭和62年度	松阪市射和町～多気町仁田	事業化(延長3.1km)
■ 平成元年度	松阪市古井町～松阪市射和町	事業化(延長8.8km)
■ 平成7年度～平成10年度	松阪市射和町～多気町仁田間	開通(延長3.1km)
■ 平成5年度～平成14年度	松阪市古井町(国道23号)～朝田町(県道37号)間	開通(延長2.4km)
■ 平成18年度	松阪市朝田町(県道37号)～上川町	開通(延長1.3km)
■ 平成20年度	松阪市虹が丘町～下蛸路町	開通(延長1.8km)
■ 平成28年度	松阪市上川町～虹が丘町	開通(延長0.8km)
■ 平成29年度	松阪市下蛸路町～八太町	開通(延長1.1km) ※現道活用区間(延長1.4km)を含め全線暫定2車線で開通



松阪市射和町～多気町仁田間開通(平成7年度～平成10年度)



松阪市古井町(国道23号)～朝田町(県道37号)間開通(平成5年度～平成14年度)



松阪市朝田町(県道37号)～上川町開通(平成18年度)



松阪市虹が丘町～下蛸路町開通(平成20年度)



松阪市上川町～虹が丘町開通(平成28年度)



松阪市下蛸路町～八太町開通(平成29年度)



凡例

	国道(直轄改築区間)
	国道(直轄管理)
	国道(県管理)
	主要地方道
	一般県道
	高速道路
	都市計画道路
	市街化区域
	都市計画公園
	都市計画区域(三重県)
	市郡行政界
	主要渋滞箇所 ※三重県道路交通渋滞対策推進協議会発表資料(R02.9)より
	事故危険箇所(交差点) ※三重県事故ゼロプラン(H28.3)より

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平29情復、第1554号)

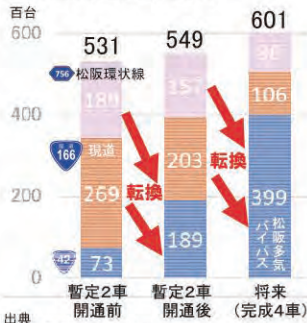
整備効果 ①

中心市街地の渋滞が緩和!

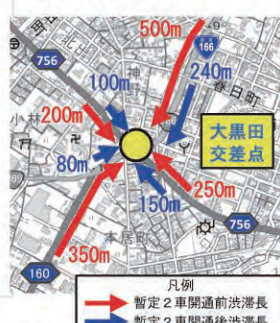
松阪多気バイパスの整備により交通の転換が図られ、市街地中心部の渋滞が緩和。

今後、交差点の立体化や4車線化により交通の転換が促進され、さらなる渋滞の緩和が期待されます。

◇断面交通量の変化



◇渋滞長の変化



出典 暫定2車線開通前: H17センサス
暫定2車線開通後: R1交通量調査及びH27センサス
将来(完成4車線): 交通量推計結果より算出

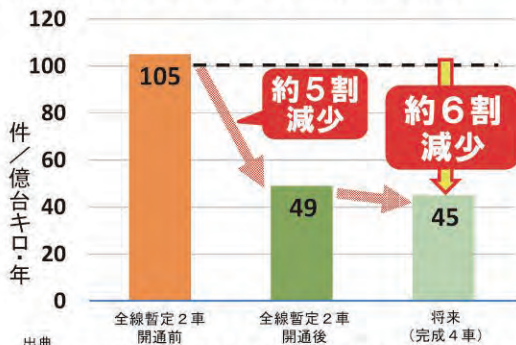
出典 暫定2車線開通前: H18渋滞長調査
暫定2車線開通後: R2渋滞長調査

整備効果 ②

市街地の交通事故が減少!

松阪多気バイパスの整備により通過交通の転換を図り、市街地中心部の死傷事故率を削減。

○旧国道42号の死傷事故率の削減効果



出典 全線暫定2車線開通前: 交通事故統計データベース (H27年~H29年平均値)
全線暫定2車線開通後: 交通事故統計データベース (H30年)
将来(完成4車線): 交通量配分結果より整備前後の交通量の変動率を算出し現況に乗じて算出

整備効果 ③

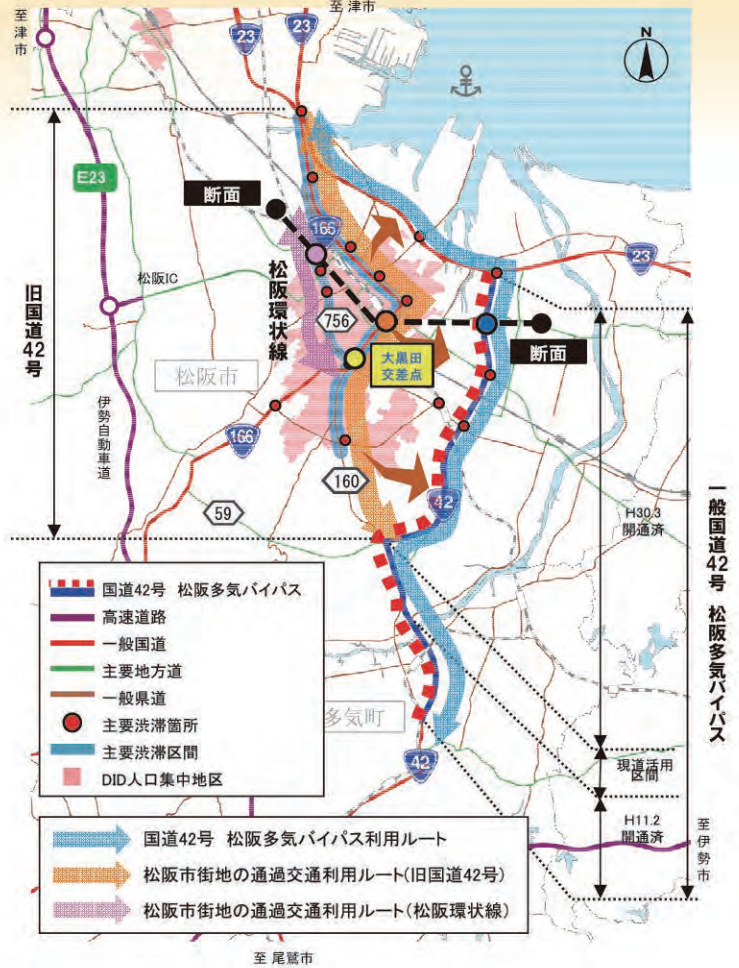
企業の生産性向上を支援!

松阪多気バイパスの整備により、松阪多気バイパス・旧国道42号とも所要時間が短縮し、安定輸送ルートも確保され、企業の生産性向上を支援します。

○多気クリスタルタウンから小津町交差点までの所要時間の変化



出典 全線暫定2車線開通前: H27年全国道路・街路交通情勢調査
全線暫定2車線開通後: 平日ETC2.0データ (R1.12月) 16~18時台 平均旅行速度より算出
将来(完成4車線): 交通量推計結果より整備前後の所要時間の変動率を算出し現況に乗じて算出



整備効果 ④

バイパス整備と合わせてコンパクトシティが形成!

松阪多気バイパスの整備と合わせ、多気町では「住居、商業、工業、公共施設等」が集積したコンパクトシティがバイパス沿道に形成され、町の面積の約6%の地域に人や施設が集積しました。松阪多気バイパス沿道には企業が多数進出するとともに、新たに工業ゾーンの分譲もされるなど、今後も更なる企業進出や街の発展が期待されます。

多気クリスタルタウン周辺地域における集積状況



※多気クリスタルタウン周辺地域: 多気クリスタルタウンを含む松阪多気バイパス沿道の多気町相可・仁田周辺地域
人口: 平成27年国勢調査より作成
商業施設: 多気町内のスーパーマーケットの敷地面積を国土交通省事務所に依頼して算出
従業員(従業員数): 平成26年経済センサスより作成
公共施設等: 国土数値情報 都市地域土地利用細分メッシュ(平成26年度)より作成

紀勢国道事務所が実施する事業等については、
次のホームページでもご覧になれます。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisei/>

お問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局
紀勢国道事務所

〒515-0005 三重県松阪市鎌田町144-6
TEL.0598-52-5360(代表) FAX.0598-52-5371

